



日常生活が始まりました。

新学期が始まって2週間が過ぎました。今週は、西中紹介や1年生との合同体育、各種委員会があり、各教科の授業もスタートしました。後輩の前で頼もしい3年生ですが、朝の登校が遅く学年集会を行って注意を促しました。気持ちにゆとりをもった生活を心掛けましょう。

最近のようす

各教科の授業や各種委員会もスタートし、日常の学校生活が始まっています。



西中紹介 (月)

1年生の前で委員会紹介や部活動の紹介をしました。



合同体育 (火)

運動会のマ스ゲームで行うカノンに1年生に教えました。



進路学習 (木・金)

西中の推薦基準を確認し、入試制度の学習をしました。

今後の予定

日付	内容	日付	内容
4/19(月)	通常6時間 朝礼 ①学	4/26(月)	通常6時間 生徒朝礼 ①学
4/20(火)	通常6時間	4/27(火)	通常6時間
4/21(水)	通常5時間 職員会議 眼科検診 ⑤道	4/28(水)	通常5時間 2年生保護者会 ⑤道
4/22(木)	通常6時間 中央委員会 ⑥総	4/29(木)	昭和の日
4/23(金)	通常4時間 保護者会(14:00~) ④総 給食あり	4/30(金)	通常6時間 1年生保護者会 ⑥総
4/24(土)	休業日	5/1(土)	休業日 開校記念日

<コメント欄>

進路コーナー

自分の進路選択を選びやすくしていこう。

今回の総合的な学習の中で「推薦」「併願優遇」について学んでもらいました。「推薦制度」や「併願優遇制度」は必ず使わなければならないものではないので、活用するかどうかは2学期に担任や保護者と相談して決めていけば良いものです。ではなぜ4月の早い時期から君たちに紹介したかというと、2学期に「活用しよう」と思った時に、「残念ながら君には資格がないんだよ。」と言われたいよう、常日頃から自覚を持った行動をしてもらいたいからです。授業で確認した「石神井西中の校内基準」、全部クリアできそうですか？

生徒によっては、「この項目は心配だなあ」とか「この項目は昨年先生に指導されたっけなあ」というものがあるかもしれません。過去の行動をなくすことはできませんが、これからの行動を改善することはできます。「遅刻が多いと注意をされた」「授業中に寝てしまった」「友人トラブルが多かった」中学生だから失敗もあるでしょう。これらの行動を改善し、校内基準をクリアできるよう、先生方は生徒に声掛けをしているのです。もちろん進路関係なくこれらは改善していくべきことなのですが、今年はとりわけ「自覚をもってしっかり行動する」ことが求められているのです。自分で自分の首を絞めるほど馬鹿らしいことはありません。より広い範囲から進路を選択するためにも、自分の言動をしっかり見直し自覚ある受験生として生活を送ってください。

作文紹介

年度始めに書いてもらった作文をクラスごとに紹介していきます。今回はB組を紹介します。

「責任を果たせる三年生を目指して」B組男子

私は今、三年生になったことでこれからの「責任」を不安に思っています。なぜなら、私は昔から消極的で他人の考えに流されやすい人だからです。

「三年生になったからといって偉くなるのではなく、やるべきことが増える。」

先日、先生がおっしゃっていた言葉です。私はその言葉を聞いたとき、その通りだと思った反面、やるべきことに必要なのは何だろうとも思いました。そこで私は、「責任」が必要だと思いました。しかし、「責任」は簡単なものではありません。私は次に、責任を果たすために自分ができることは何だろう、と考えました。そして出た答えは、堂々として自分の考えに自信をもつことです。自分がそれらのことに気を付ければ、自然と下級生はついてきてくれると思います。また、下級生から見習われる存在になり、印象がよくなると思います。

私はこれらのことは、これからのサクセス・カノンを教えるときや、運動会などに使えらと思います。だから私は、少しずつでもよいから消極的な自分から抜け出し、責任を果たせる三年生に近付きたいです。

「自律と両立」B組女子

私の三年生の目標は、自律と両立です。今までは両親や友達の支えがあってやっとなことができることがたくさんありました。例えば、忘れ物、朝起きること、自分の部屋の掃除などです。この一年が終わればイヤでもこの支えは無くなります。急に無くなってなにもできないと、自分も困るし、周りにも迷惑をかけてしまうかもしれません。そうならないためにも先生方がおっしゃっていたようにこの一年を準備期間にし、一人でできることを当たり前のようにしたいです。

もうひとつの両立にはいろいろな意味があります。勉強と部活、進路と趣味、自分の意見をもつことと人に優しくすることなど。三年生になり、いよいよ受験という言葉が見えてきました。勉強を当たり前にする環境ができてきて、自分の欲をしまい込まなきゃいけないときがあるはずですが、そんなときは、ストレスを溜めずちゃんと見切りをつけてできるようにしたいです。今の私はまだそれができません。焦らず着実に可能なものを増やしていきたいです。そのためにも、今は目の前のものを全力で楽しんで挑んでいきたいです。